

特集テーマの設定について

平 正 人

文教大学教育学部准教授（同教育研究所所長）

Introduction to Feature Articles

TAIRA MASATO

(Director-General, Institute of Educational Research, Bunkyo University)

今年度の特集テーマは「共生社会における『多様性』を教育の場でいかに保障するか」に設定した。共生社会を迎えた現在、教育においても、子どもの学習権の保障という考えのもとに、障がい・外国人児童生徒・家庭環境・個性・能力などの「多様性 diversity」を保障することが強く求められている。しかしながら、実際の教育現場では、個々の能力に応じた教育が実践され、多様な事情に対応した教育環境が整備されているかといえば、決して断言できない状況が存在する。今回の特集テーマでは、日本国内外における現状と今後の展望を織り交ぜながら、共生社会における教育のあるべき姿に迫っていききたい。

収録論文は次の通りである。「教育における『多様性』の保障とその対応の国際比較 —教育制度・施策の視点から—」「特別支援教育における『多様性』の理解と支援 —ユニバーサルデザインと『多様性』を理解する教育観を中心に—」「インドネシア・アチエと東北を行き来する『双方向スタディツアー』 —インドネシア人参加者の変容に着目して—」「夜間中学における多様な学びと今後の実践的課題 —夜間中学校の現場から(1)—」。これらの論文では、教育制度・施策の国際比較やインクルーシブ教育の試み、またインドネシアと日本における相互交流の現場や夜間中学校の存在意義など、さまざまな立場・視点から多角的かつ実証的な考察が繰り広げられている。この機会には是非ご一読いただきたい。

